

	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-55℃～85℃(注1)			保存温度範囲		-10℃～60℃(注2)			
	電圧		AC 125 V			使用湿度範囲		40%～80%			
	電流		0.5 A			保存湿度範囲		60%以下(注2)			
性能											
	項目	試験方法				規格		QT	AT		
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。		○	○		
	表示	目視にて確認する。						○	○		
電気的 性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。				45 mΩ以下		○	—		
	低電圧、低電流下の 接触抵抗	20 mV 以下、1 mA (DC または 1000 Hz) で 測定する。				55 mΩ以下		○	—		
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。				100 MΩ以上		○	—		
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—		
機械的 性能	繰り返し動作	300 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗: 55 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐振性	周波数 10～55 Hz、全振幅 1.52 mm、 3 方向各 2 時間試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。						○	—		
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗: 55 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→10→15→30→10→15 分 を 5 サイクル試験する。						○	—		
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水、48 時間放置する。				① 接触抵抗: 55 mΩ以下		○	—		
	硫化水素	濃度 3 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 38)				② はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 240℃ 5秒以内 220℃以上 MAX10秒				外観の変形及び端子などに著しい ガタのないこと。		○	—		
		はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内						○	—		
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 2 秒間のはんだ付けを行う。				はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。		○	—		
備考						製図	担当	検図	承認	出図	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。 注3. **は極数を示します。											
試験規格の記載のない試験方法はMIL-STD-1344を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 FX4B3-**-P-1.27SV(71)					
旧CL CL		図番 SLC4-083830-21		製品コード CL574		1/1					